

高校入試前日及び当日に向けて

いよいよ高校入試です。今まで積み重ねてきた努力を存分に発揮して栄光を勝ち取って下さい。長い努力もちょっとしたことで台無しになってしまうことがあります。次のようなことについて特に注意して下さい。

1. 前日の注意

① 受験校(所在地、電話番号、受験番号)、経路(交通機関、時刻表、所要時間)をメモし確認する。

② 集合の時刻、場所を確認する。

自宅を出る時刻、電車に乗る時刻、乗り換えの時間等を確認しておく。

友達と待ち合わせる時は、遅刻しないよう待ち合わせ時間は厳守する。待ち合わせの時間が来たら、揃っていないなくても出発するよう約束をしておくこと。(いつまでも待たないように。)

③ 服装を点検する。頭髮、上着、ズボン・スカートの汚れ、ボタン、シャツ、靴下、靴など出願時と同じようにしっかり点検・確認をする。

これらの乱れが日常生活と結びつけられ、不合格につながる。(寒くないように下着等で調整することも忘れないように。)

④ 持ち物を確認しカバンに入れる。受験校の受験心得、受験票記載の説明などを必ず読んでおくこと。

ア) 受験票(副票のある時は副票も)、筆記用具(字の薄い人は濃いめの鉛筆を)、消しゴム、定規、コンパス、下敷き(無地)、時計(電卓、通信機能付きは不可) 《携帯電話は厳禁!》

イ) 高校から指定されたもの(上ぐつ、体操服、返信用封筒など)

ウ) 現金(交通費+予備)、電話代(10円玉など)

エ) 生徒手帳[受験校(受験番号等)や経路(時刻表等)等必要なことを記入してあるもの。]

オ) ハンカチ、ちり紙、雨具、必要な学校は昼弁当(箸を忘れないように)

⑤ 体調を整える。

- ・ 睡眠時間を十分にとり早めに起きて余裕をもって行動しよう。
- ・ ゆったりした気持ちで心を静め落ち着けるようにしよう。
- ・ 「難しい」ことはしない。見直し程度でよい。

2. 受験当日の注意

① 普段より早めに起きて軽く朝食をし、必ずトイレを済ませる。

② 持ち物をもう一度点検する。

③ 試験会場には早めに行き、教室、トイレの場所、掲示物をしっかり確認する。トイレは1時間ごとに行くくらいの気持ちで。(テスト途中には行かない。)

④ 点呼の時ははっきり返事をする。また、先生の注意を聞き漏らさないこと。

⑤ 行き帰りは寄り道をせず、中学生らしい行動をとる。

(面接の無い学校も写真確認のとき、全て見られていることを忘れずに。)

3. 試験中の注意

- ① 教室では、監督の先生の指示に従うこと。
- ② 配られた問題用紙等に不足がないか確認する。
- ③ 質問がある時は、静かに手をあげる。
- ④ 落ち着かない時は、目を閉じて深呼吸する。
- ⑤ 周りの生徒は、意識しないようにしよう。
- ⑥ きょろきょろしたりせず、早くできたら見直すこと。

決して寝たりしないように。(悪い姿勢には要注意。)

- ⑦ 前後が知った者同士だからといっても、テスト問題を回収し終わらないうちに話したり、騒いだりすることが無いように。

4. 答案の書き方

- ① まず、受験票を見ながら受験番号、名前を書く。
- ② 難しい問題がでてくる場合もあるので易しい問題から解き始める。
- ③ 問いを読み、その後、本文を読むのもひとつの方法です。
- ④ 解答欄や解答方法(「記号で」など)を間違えないこと。
- ⑤ ていねいにわかりやすい文字を心がけること。
(うすい文字、見にくい文字、丸文字等はダメ)
- ⑥ 休憩時間に答え合わせをしない方がよい。

5. 試験が終わった後の注意

- ① 監督の先生の指示、注意、連絡等をしっかり聞いておくこと。
大切なことはメモをとっておくこと。(面接の日時・場所、発表の日時、手続き等)
- ② 掲示物などにも注意を払うこと。
- ③ 全てが終了したら、まっすぐに帰宅すること。
(中学校には行かない。面接内容等は翌日以降に報告すること。)

※こんな時は、慌てずに早めに中学校に電話しよう。

- ・ 受験票を忘れた時 (取りに帰って間に合わない場合、取りに帰らない。)
- ・ 受験票を無くした時
- ・ 交通事情で、遅刻のおそれのある時
- ・ 急病で受験できない時

学校電話番号 06-6531-7868

(公衆電話は駅などの施設、公園、幹線道路などにあります)

ベストを尽くしてがんばろう！